
選考経過報告



日本医師会 常任理事

黒瀬 巖

赤ひげ大賞ならびに赤ひげ功労賞受賞者の皆様、このたびは誠におめでとうございます。

第11回「日本医師会 赤ひげ大賞」の選考の経過をご説明させていただきます。

第11回「日本医師会 赤ひげ大賞」は、昨年6月1日、日本医師会より都道府県医師会宛てに推薦依頼文書を発出し、ご推薦をいただきました。

選考に当たりましては、選考委員の皆さんと共に「候補者推薦書」による事前審査を行い、その結果を基に、11月10日、日本医師会館で選考会を開催いたしました。その中で、「赤ひげ大賞」の受賞者5名ならびに「赤ひげ功労賞」の受賞者15名を決定し、本年1月11日、日本医師会の記者会見において今回の結果を公表し、本日の表彰式を迎えるにいたしました。

受賞された先生方は、長年にわたり、地域住民の健康確保に親身に取り組んでこられた方々ばかりであり、選考には困難を伴いましたが、受賞者には本賞にふさわしい方々を選考できたと考えております。

コロナ禍を経験したことで、かかりつけ医をもつことの重要性とともに、期待されるその役割もますます増えています。

本賞が、各地域の先生方の励みになり、地域医療の更なる充実や後進の育成へとつながることを願っております。

以上、経過のご報告とさせていただきます。

ありがとうございました。